



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
JUN.2021

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

中国の全国人民代表大会で6月10日、外国から制裁を受けた場合に報復するための法律【反外国制裁法】が可決、成立し、即日実行された。新疆ウイグル自治区や香港をめぐる逃亡犯条例や香港国家安全維持法等（先日中国共産党に批判的なアップルデイリー紙が廃刊に追い込まれたばかりである）の問題で欧米各国から相次いで制裁を受ける中、直ちに反撃する体制をとるのが目的である。外部の者が非難の声を上げると、内政干渉と言われるが、個人的には、このような人権侵害、特に国家による自国民に対する人権侵害に対しては、内政による対応が期待できない以上、国際社会がこれらに対し声を上げる事は内政干渉ではなく、ごく当たり前の事であると感じる。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開幕が近づいてまいりました。未だに開催の是非が問われ、日夜議論に事欠かない状況ですが、皆様はどう思われますでしょうか。多くの意見・想いは当然あるべきと思いますが、開催するにせよしないにせよ、皆が最低限納得できる結果になることを期待しています。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Do not online shopping too much. Do not replace try to repair...,
Eco-Friendly is not a Slogan. (J.L.)

CSI

CSIでは毎年環境保護を目的に植林を行っております。前回は2019年4月27日に行いました。昨年はコロナの影響で中止となりました。フィリピンの自然に触れるチャンスなのですが、今年もコロナの影響で延期となっております。(K.S.)

SANSHINWest

高齢者や医療従事者を優先としたワクチン接種が始まりました。既に摂取した方の中でもまだ1回目の方が多いと思いますが、最も高い発症予防効果が得られるのは2回摂取してから1週間後のようです。しかしそれでも100%ではないため、引き続き、マスク・手洗い・うがいは必須です。(Y.S.)

SHINKOWA

そろそろオリンピックの時期になってきました。未だにコロナによる感染力は変異種などにより、治まっていますが、無事にオリンピックが開催され終われることを願っています。また、コロナが治まり緊急事態宣言や飲食店での飲酒禁止が無くなり次第、大学研究室の同期と飲みに行きたいと思います。(H.K.)

SC2

【検定】一般社団法人日本環境保健機構が認定する「化学物質過敏症サポーター」という資格があります。試験ではなくDVD受講で、レポート提出に合格すれば永年の資格が取れます。もとは建築業界向けに創設された資格でしたが、災害対応等も含めて広く使えるように一般も受講できるようになりました。これから必要になってくる知識ですので、ぜひ受講してみてください！(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

「誰にでも必要な休養」

コロナ状況がまだ予断を許さない現状で十分に休養を取っていますか。「休養」には2つの側面があります。1つは「休む」こと、仕事や活動によって生じた心身の疲労を回復し、元の活力ある状態に戻すという側面であり、2つ目は「養う」こと、明日への鋭気を養い、身体的、精神的、社会的な健康能力を高めるという側面です。

■. 身体的な休養

身体的な休養には、受動的なものと能動的なものがあります。**受動的な休養は、睡眠や昼寝。ジョギングやストレッチが能動的なものとして挙げられています。**

■. メンタル面の休養

仕事中に定期的に休むことが挙げられています。また、**心配事などで夜眠れない時には、枕元にメモ帳を置いて心配事を書き出してから寝ることもお勧めします。**不安を書き出す行為が、それを心から外に出すことにつながるのでしょうか。

■. 感覚面の休養

仕事の会議やイベント、友だちとのチャットもアプリに頼っている現状では、デバイス使用による疲労感はなかなか解消できません。**ときどき1分間目を閉じる、1日の最後にデバイスをオフにする**などをお勧めします。

■. 感情面の休養

パンデミックでストレスや虚無感など、以前なら一時的だったかもしれない感情を長い間抱えていることも。デバイスを手放す勇気が感情面の休養につながります。

■. 社会的な休養

なんでも抱え込んでしまいがちな人には、**対人関係から距離を置く**この休養が重要です。

■. 創造面の休養

何もしない時間をつくること。それにより仕事と私生活の境界線ができ、生活に余白ができ、より良い意思決定ができるメリットが生じます。

在宅勤務のなか自分に合った休養を取り入れて、身体面だけではなく、メンタルや感情、感覚面をリフレッシュしましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

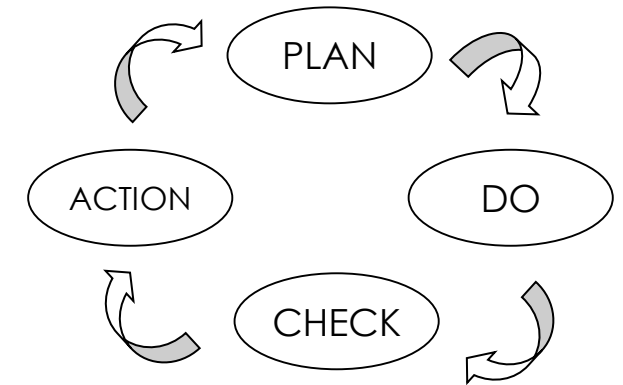
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



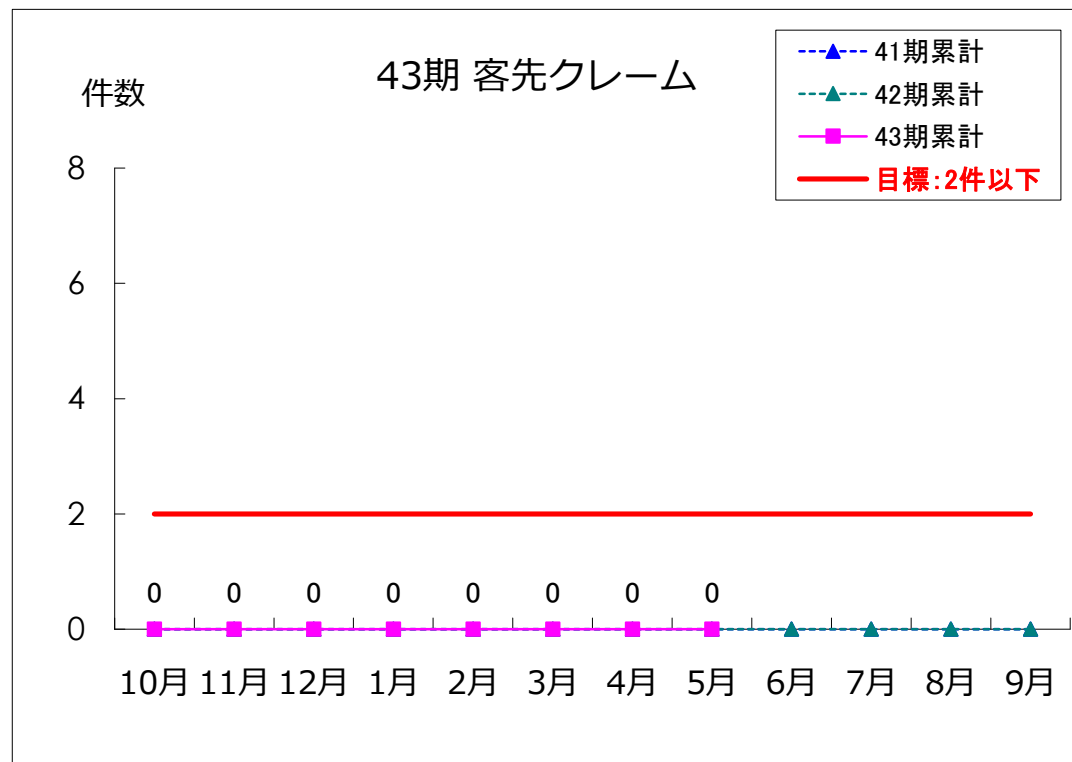
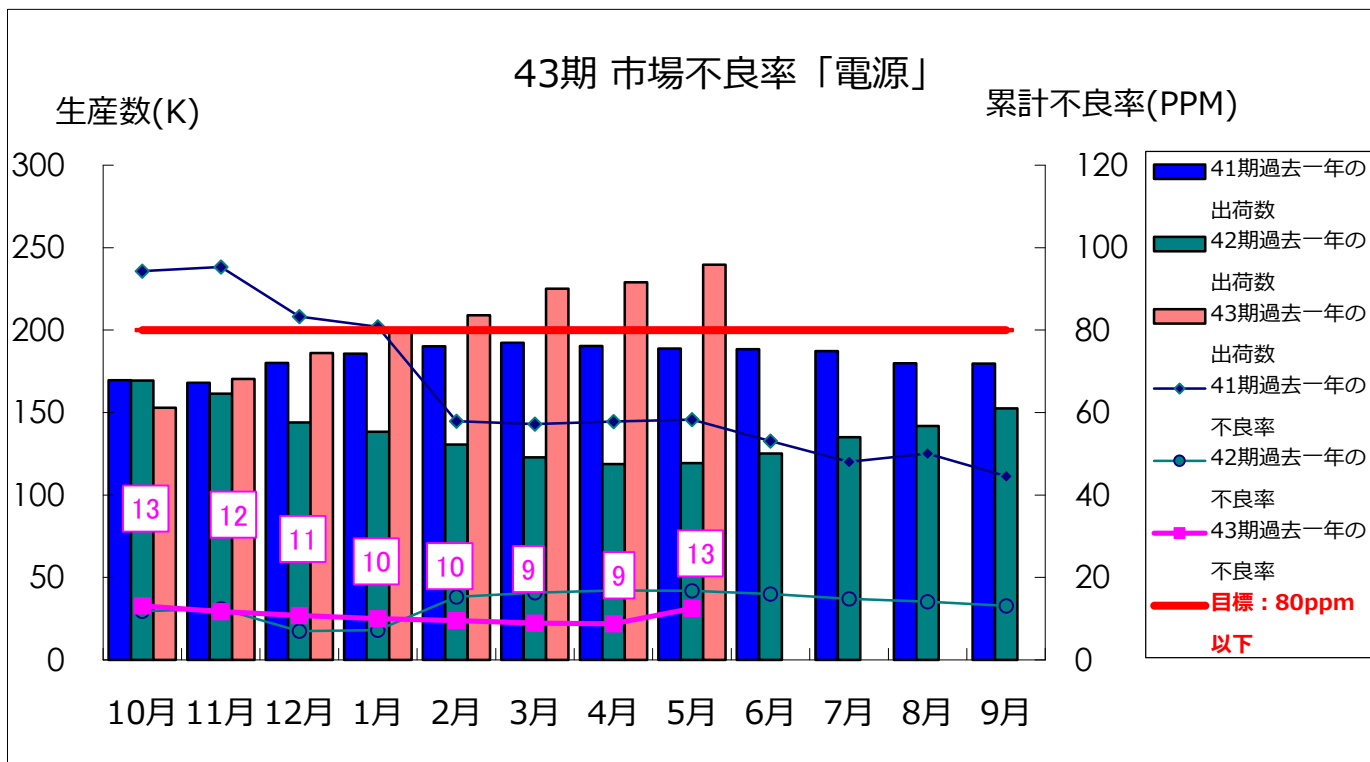
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

43期の累計不良率は、13ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 東京2020オリンピック・パラリンピックにおける持続可能性とは？

現在、世界各国では「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向けて様々な取り組みが行われています。それは、「この美しい地球」を後世まで残したいという人類の大きな課題の一つでもあるでしょう。その中でも「スポーツがもたらすSDGsへの影響力」は、非常に大きいとされているのです。今回は東京2020オリンピック・パラリンピックが持続可能な開発目標に対して、どのような取り組みが行われているのかを具体的に見ていきます。

☑ オリンピック・パラリンピックと持続可能性

オリンピック・パラリンピックは、4年に一度開催される世界一のスポーツイベントです。

オリンピックの精神は「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍など様々な違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」とされています。

また、国連はスポーツとSDGs（持続可能な開発）について密接な関係があると提唱しています。SDGsは地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っており、「開発と平和のためのスポーツ」という分野を含め、全世界で開発に向けたグローバルな行動を鼓舞する独自の機会でもあると伝えているのです。

そして2019年12月には、国連が加盟国に対して東京で開催されるオリンピック・パラリンピックの大会期間前、期間中、期間後の戦闘行為の停止を呼びかけています。

東京2020では「Be better, together／より良い未来へ、ともに進もう」というサステナビリティ原則に基づいて、持続可能な形での大会運営の確保、SDGsの達成に寄与することを狙いとしている点も大きく関わっています。

今月のTOPICS

☑ 持続可能性に関する主要テーマと目標を設定

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、「Be better, together/より良い未来へ、ともに進もう」という、持続可能性を意識したコンセプトが設けられています。

つまり、「男女の差別」「所得の格差」「人種差別」「再生エネルギーの活用」「施設の再利用による資源の有効活用」「パートナーシップによる大会づくり」などのテーマを定めて、大会の運営を行おうと進められているのです。

SDGsでは、今のままの素晴らしい地球の状態を、後世の人類に伝えていくことが目標となっています。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、持続可能な開発目標に重きを置いた、具体的なテーマがコンセプトとなっていると言えるでしょう。

詳しい内容を見ていくと、以下のようになります。

◆気候変動

気候変動に対する取り組みとしては、脱炭素社会を実現することを目標としたテーマになっています。いわゆる、「二酸化炭素の削減」です。現在の日本国内の電力の多くは火力発電で賄われています。火力発電は、石油を燃やし、タービンを回して電力を産み出す仕組みであり多くの二酸化炭素を大気中に排出してしまいます。そこで、「使える再生可能エネルギーは100%使う」ということを目標に掲げ、大会運営に当たるための準備が進められているのです。再生可能エネルギーは安定した供給が得られないことが、課題となっていますが、こうしたスポーツの祭典での取り組みから、一つずつ始めていくことで次第に世界中に波及していくことでしょう。

◆資源管理

続いて、資源管理の観点です。資源管理では、無駄な物を作らないことがテーマになっています。

つまり、オリンピック・パラリンピックが終わった後も、何らかの方法でその施設が、有用に使い続けられることを念頭に置いて考えられているのです。また、食品の廃棄ロスなどにも力を入れてあり、極力ロスのない食事提供を行う事を方針にしています。

同様に、過度な食品トレーや包装紙の提供もしないように決められていて、無駄な資源を削減する取り組みは、各方面で進められているのです。

今月のTOPICS

◆大気・水・緑・生物多様性等

東京2020オリンピック・パラリンピックは、日本の猛暑の中で行われるため、暑さ対策には万全を期さないといけません。そのためにも、自然豊かな都市環境の中で、進められていく大会でなければならないでしょう。競技時間、競技場所の議論は国内外でずっと議論が進められてきました。また、極力自然の緑を残した環境の中で大会を運営することによって、「東京の新たな都市モデル」を世界中に発信し、自然との共存をした東京を認知してもらおう絶好の機会だと言えるでしょう。さらには、「雨水の有効活用」なども、考えられています。水は私たち人類にとって重要な資源です。雨水を上手く再利用することで、少しでもきれいな水を残していくという効果があります。

◆人権・労働、公正な事業慣行等

全ての人を受け入れるということは、人権尊重や公正さにつながる大きな役割があります。「ダイバーシティ&インクルージョン」というテーマを掲げ、一人ひとり違う個性を持った人を全て受け入れていくという枠組みの中で大会は進められていきます。全ての人に平等な権利があり、どんな人にも大きな価値があります。人種や性別での差別は絶対にあってはならず、早急に是正が必要です。また、身体的に障がいがある方が、積極的に参加できる大会運営になるよう準備も進められています。さらには、期間中に人権侵害の被害にあった方専用の「無料相談所」も開設される予定です。

◆参加・協働、情報発信（エンゲージメント）

東京2020オリンピック・パラリンピックは「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」という活動が行われました。「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」は日本国民の使用済みの携帯電話、使用済み小型家電などから採れる少量の金属類を集めて、大会中の全てのメダルを作成する取り組みです。メダルに使われる金属類は約2年間集め続けられ、大会中に授与される予定の金銀銅メダル5,000個全てまかなえています。私たちにも参加できるプロジェクトを設けることが、全員参加型のオリンピック実現に向けた第一歩になっているのです。

今月のTOPICS

また、このような持続可能な開発目標に対する多くの取り組みが国内外で行われていることを、今まで知らなかった人々に発信することも一つの取り組みと言えるでしょう。これまでは大会の関係者のみで行われる大会のイメージが強かったかもしれませんが、今回の東京大会からは、世界中の全ての人々がそれぞれの枠組みを超えてつながり合うオリンピックの開催が期待されています。

☑ SDGs達成に貢献できるオリンピックを実現しよう

持続可能な開発を行い、誰一人取り残さない社会を実現するには、スポーツも大きな役割を担っています。SDGsを達成するためには東京2020オリンピック・パラリンピックでの取り組みは、世界中に大きな印象を与えてくれるのではないのでしょうか。今の美しい地球環境を守っていくには全人類一人ひとりが自然や社会の課題と向き合い、取り組んでいくことが重要です。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

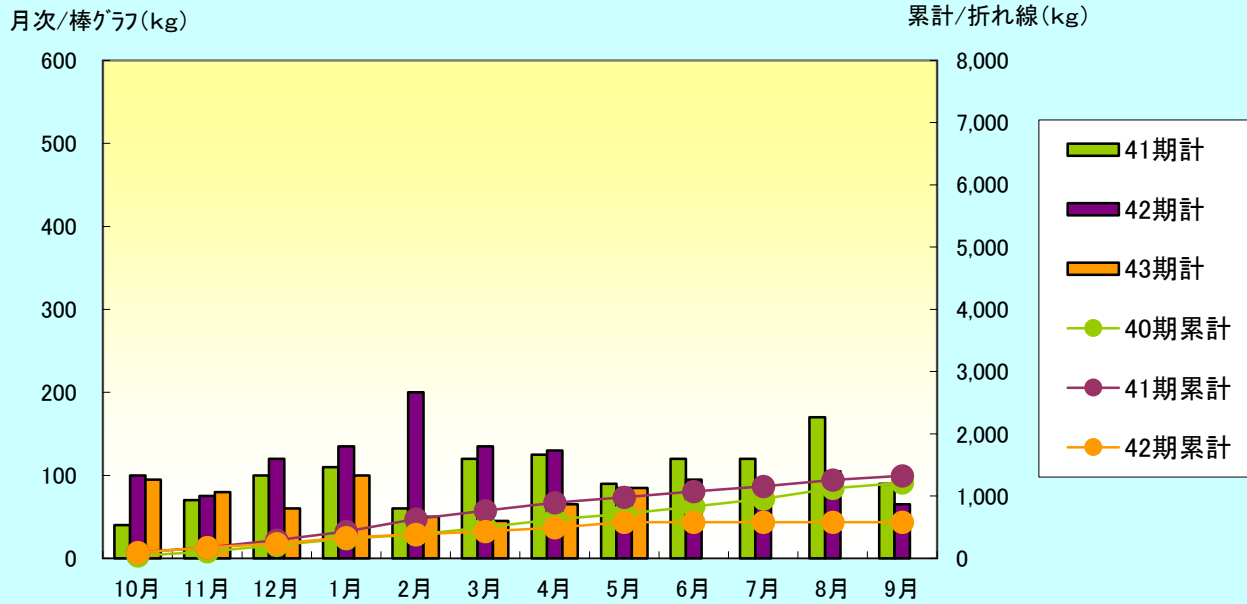
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

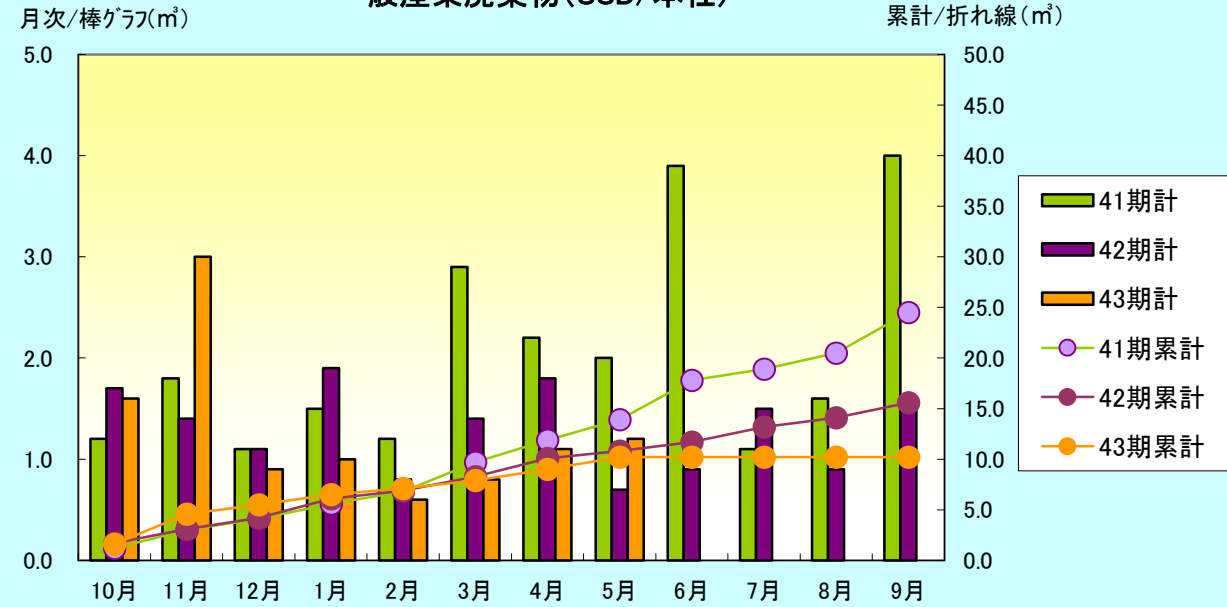
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



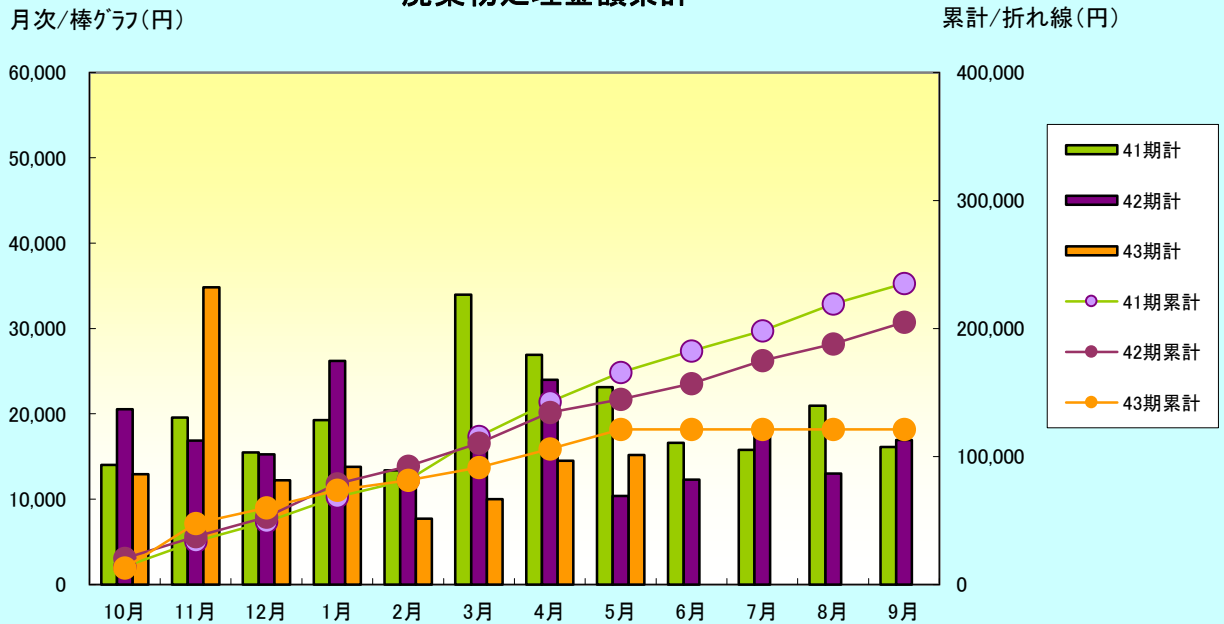
一般廃棄物(SSD/本社)



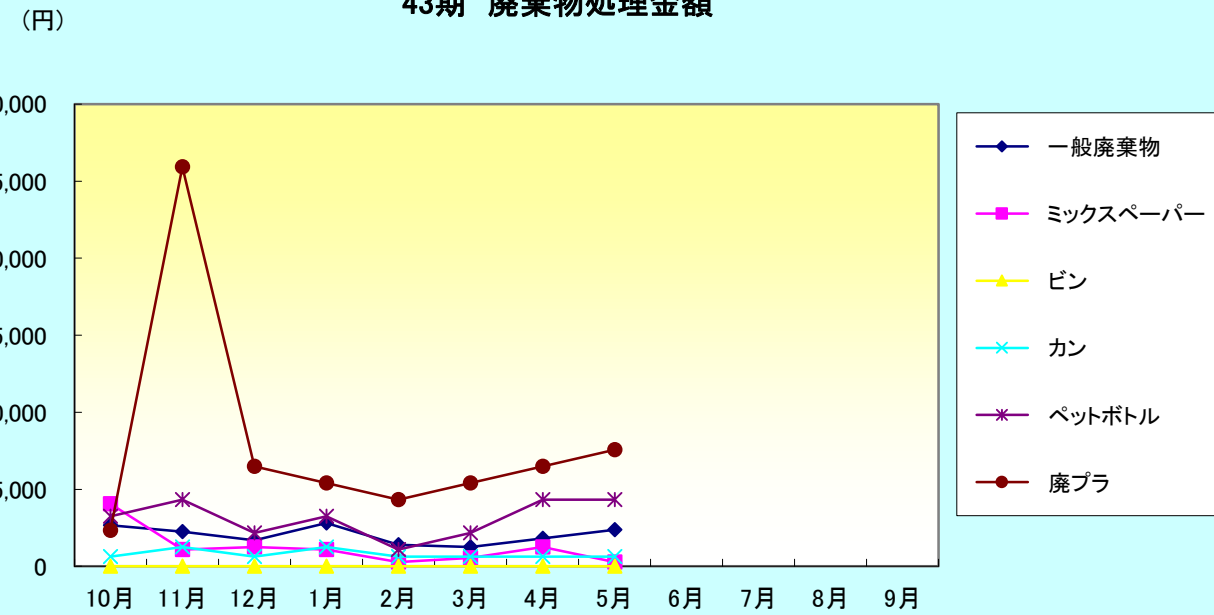
一般産業廃棄物(SSD/本社)



廃棄物処理金額累計



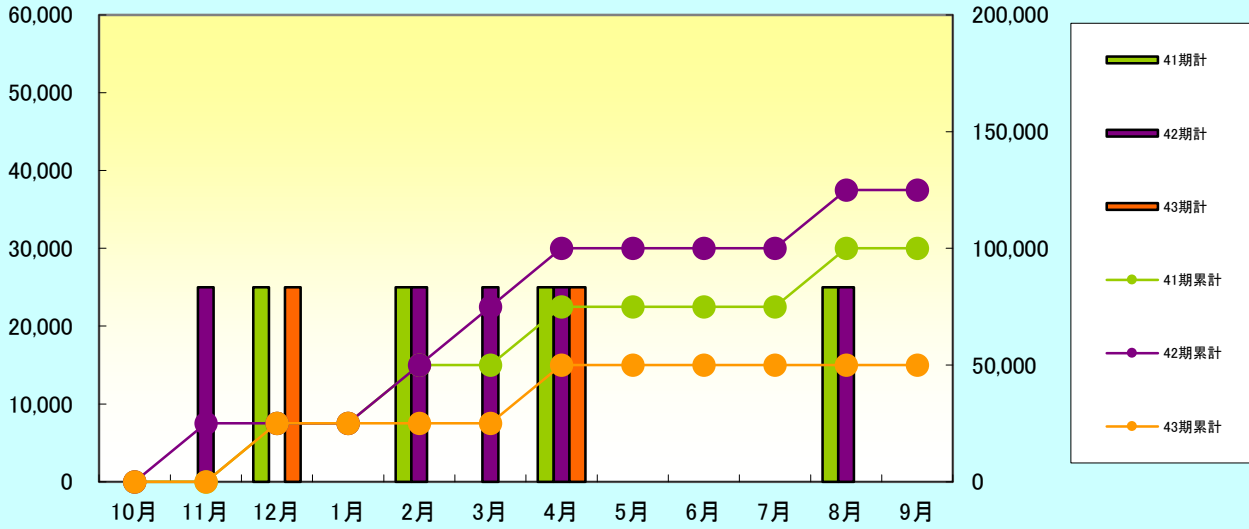
43期 廃棄物処理金額



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

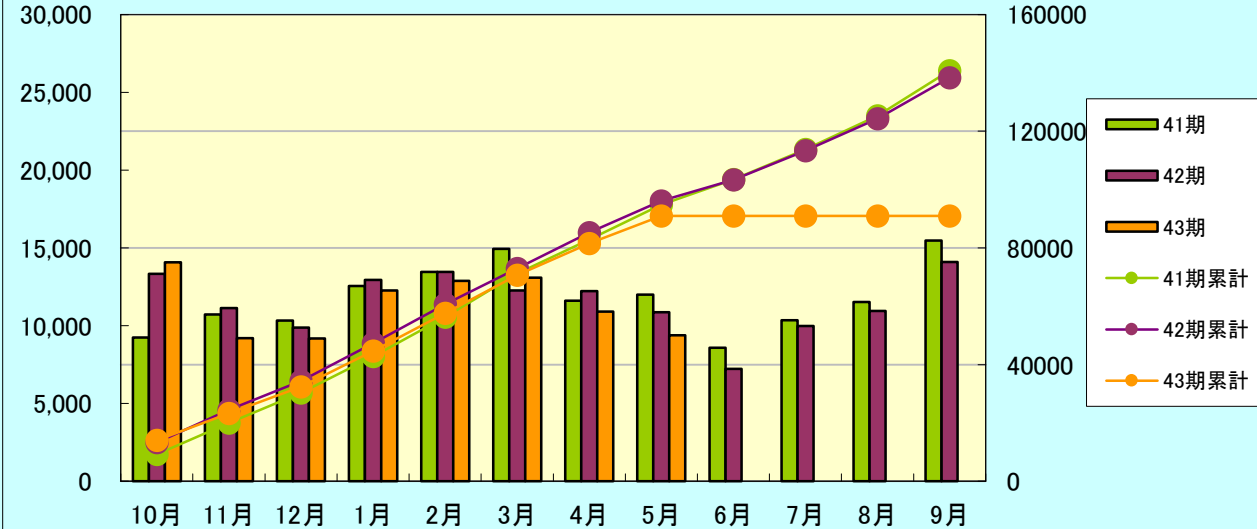
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

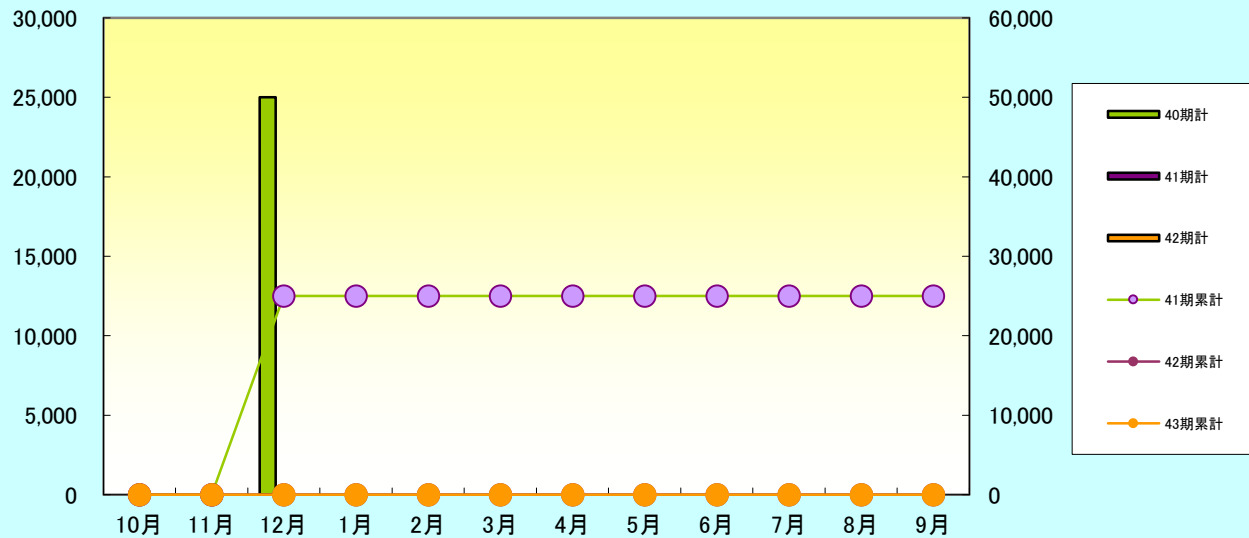
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

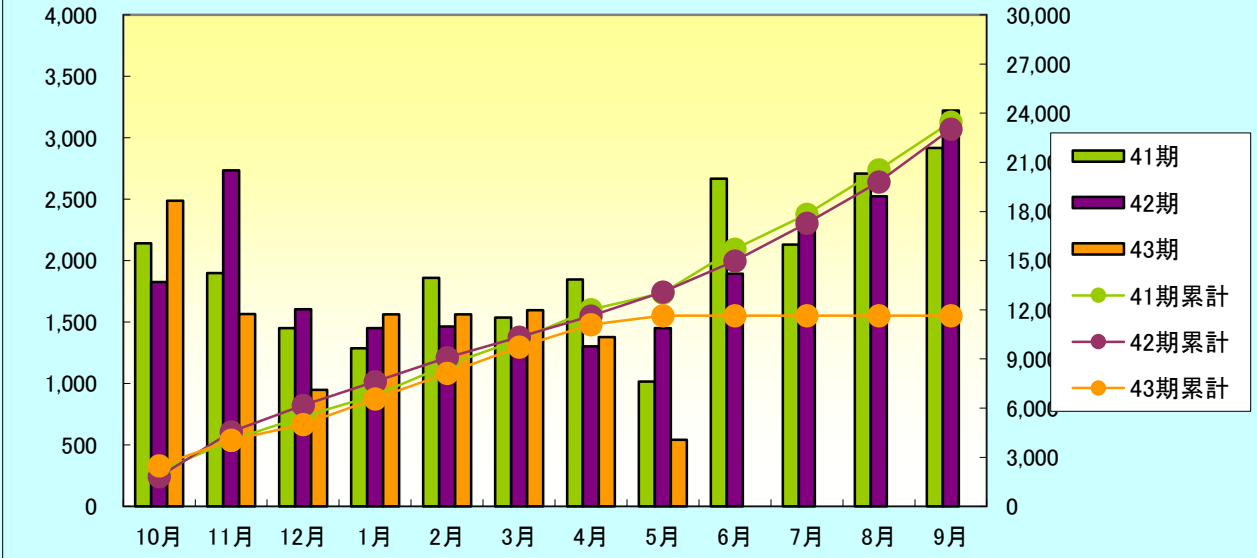
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

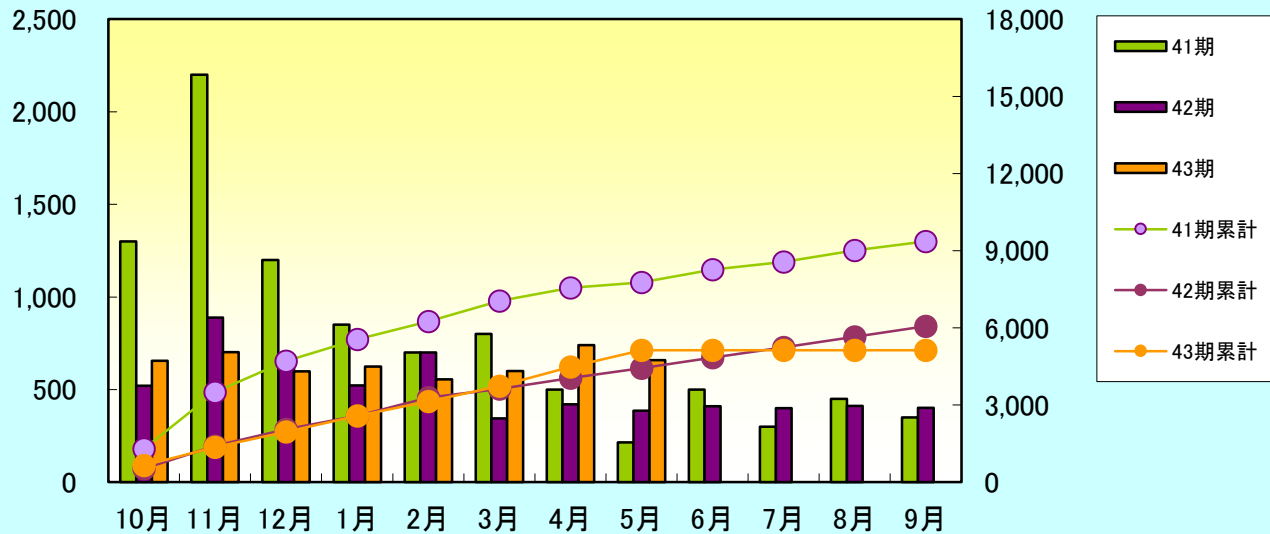
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

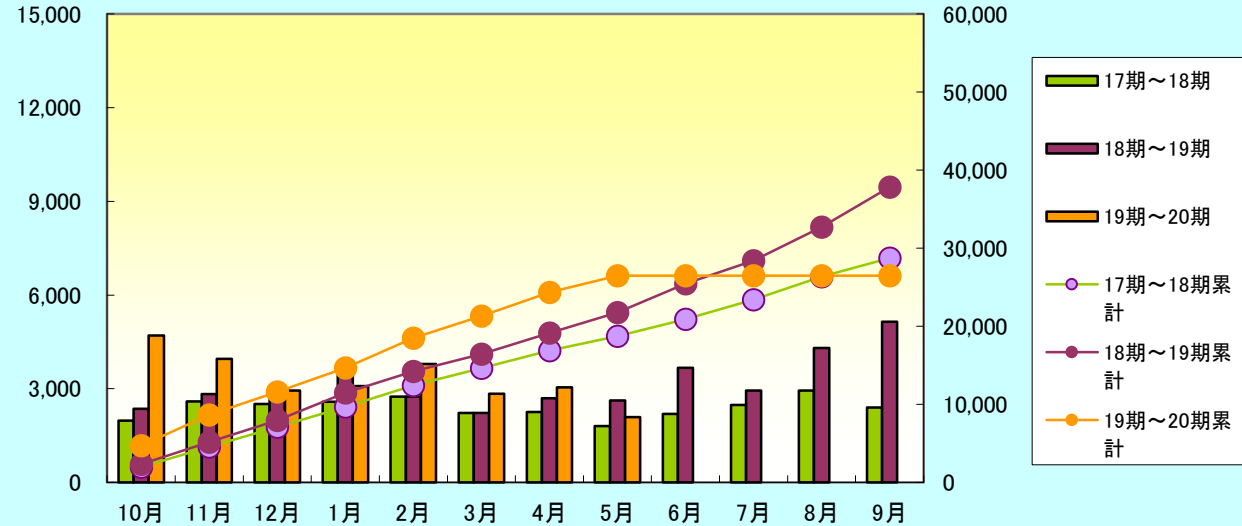
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

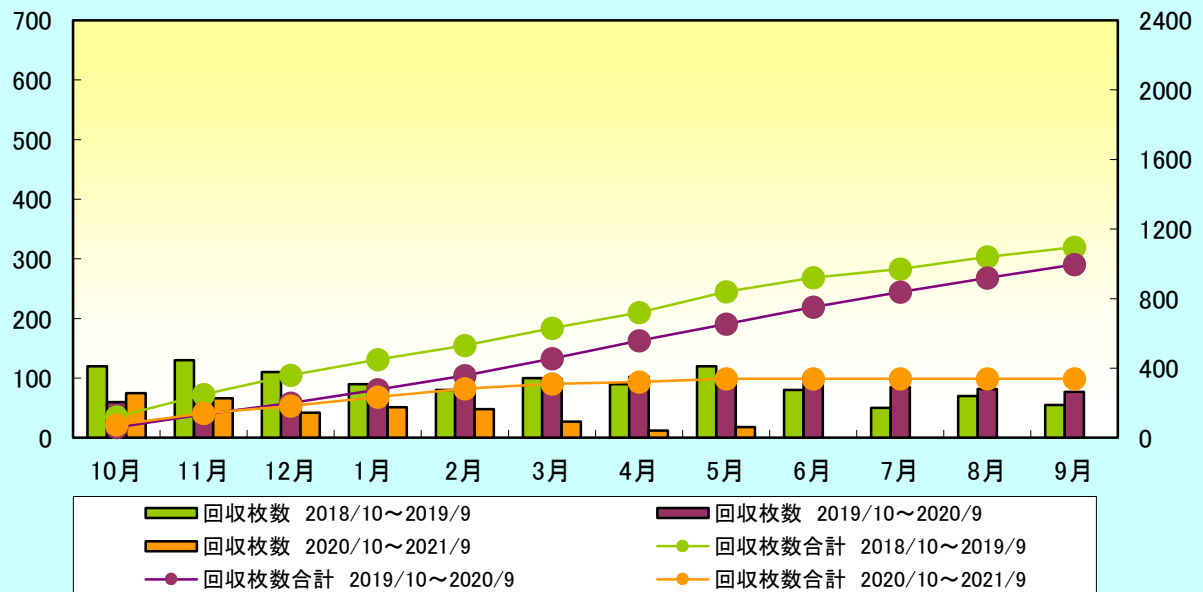
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

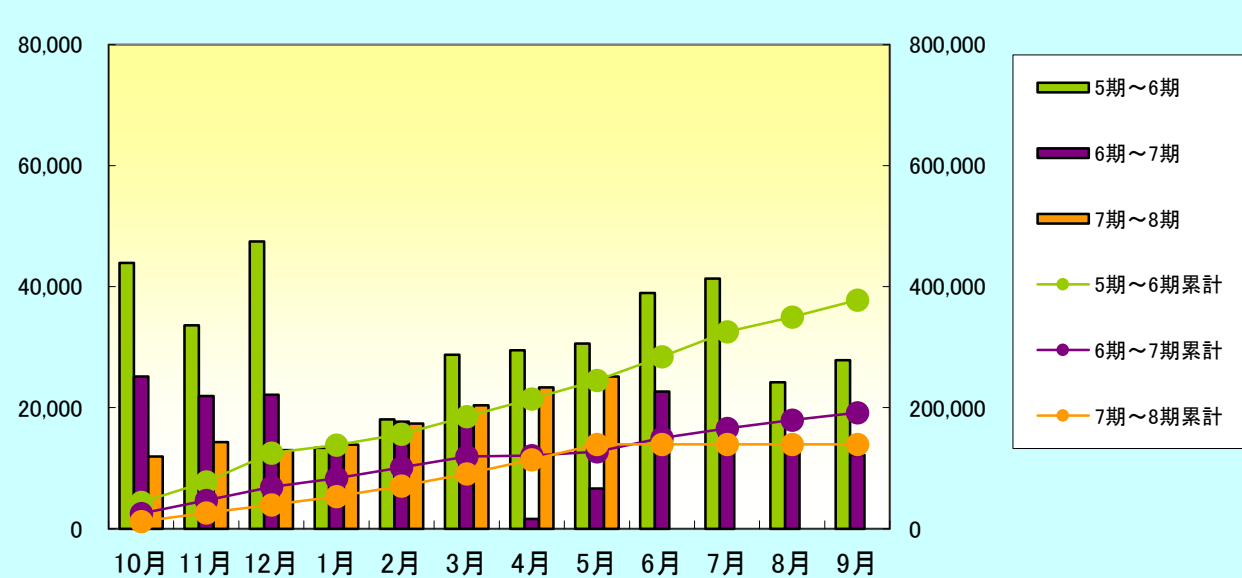
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●協会けんぽ「健康優良企業・銀の認定証」が 1年間更新されました！

サンシン電気（株）は、2016年10月に「健康企業宣言」をし、2017年5月に協会けんぽ・東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」を受け、日々、健康企業宣言に資する健康経営・健康づくりの取組みを継続して進めてきました。

今年5月末に5回目の認定を受けるべく更新申請をし、2022年5月31日まで認定期間が更新されました。

「銀の認定証」を受けるためには、社員の健康診断の100%の受診、特定保健指導の実施、職場の「食」「運動」「禁煙」についての継続した情報提供・共有等が必須です。

この「銀の認定証」は、サンシン電気（株）が昨年も経産省から認定を受けた「健康経営優良法人（中小規模法人）」の審査を受けるための登竜門（協会けんぽ・東京支部限定）でもあり、「銀の認定証」無くしては、「健康経営優良法人（中小規模法人）」の申請も出来ません。これからも社員とご家族の健康と幸せのために、健康経営・健康づくりへの取組みを積極的に進めて参ります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（5月参加人数：延べ5名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：七夕飾り

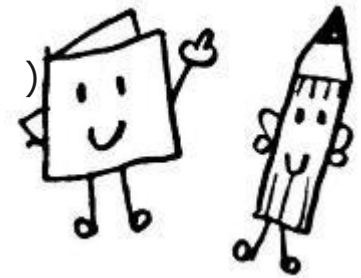


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2021年5月更新）⇒5年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2021年3月）⇒4回目の認定取得！
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ 新入社員を対象としたサンシングループ石井代表による「新人勉強会」を開催中
(2/19「2050年の経済覇権」、3/12「自由論」、5/14「人生、仕事と創造」、6/25「知識と思考」)
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCA'を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



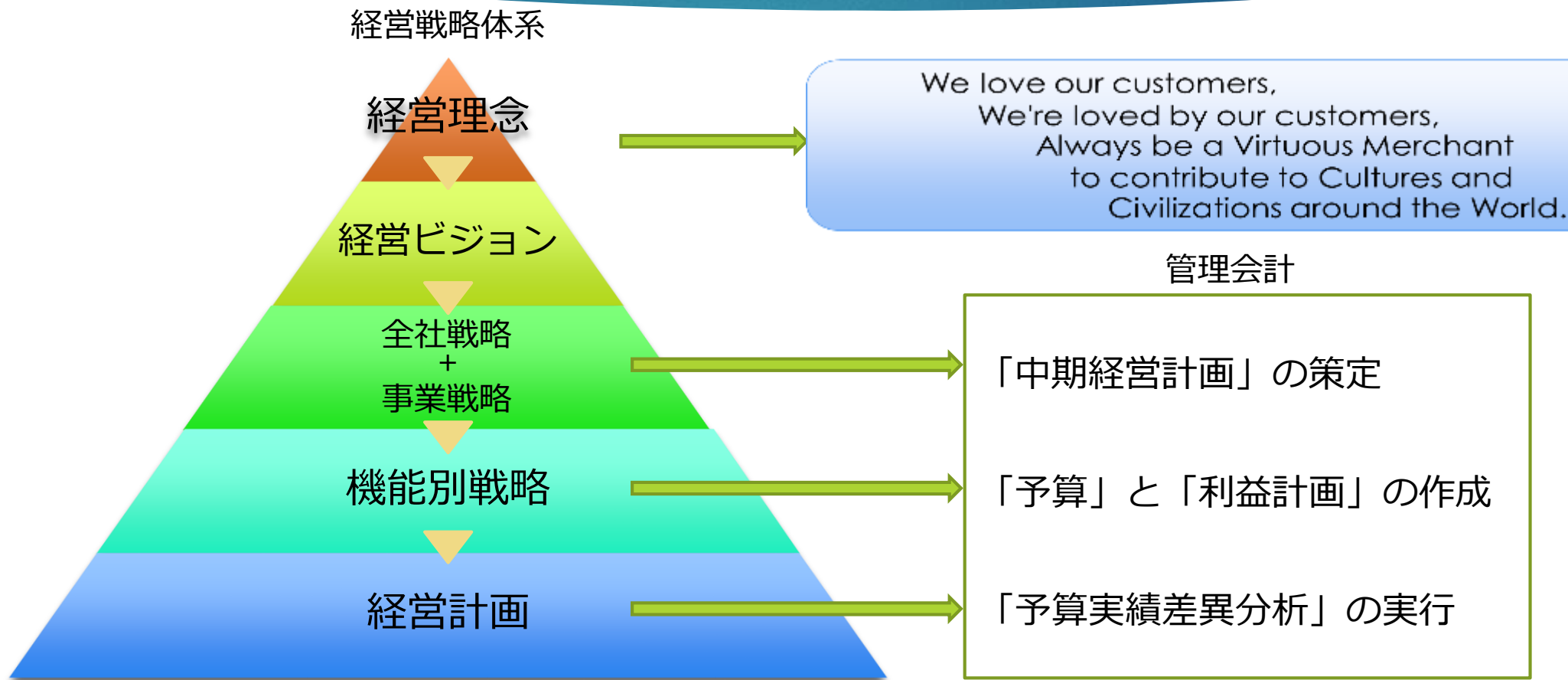
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

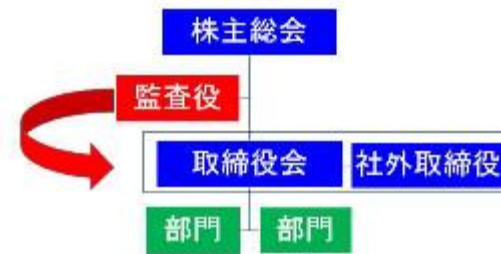
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

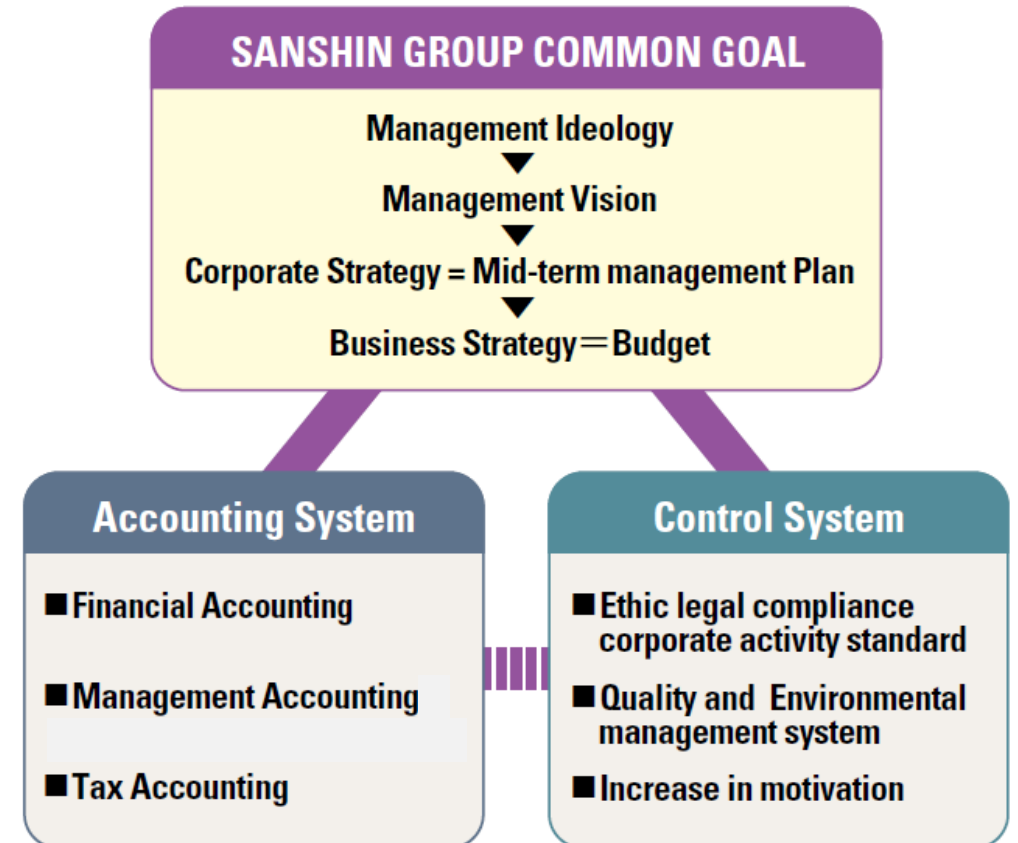
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

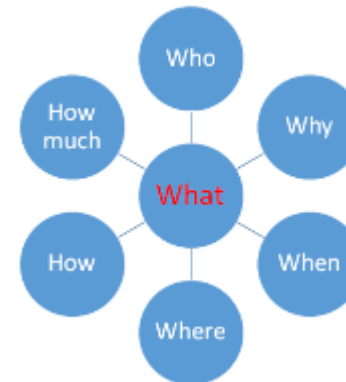
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

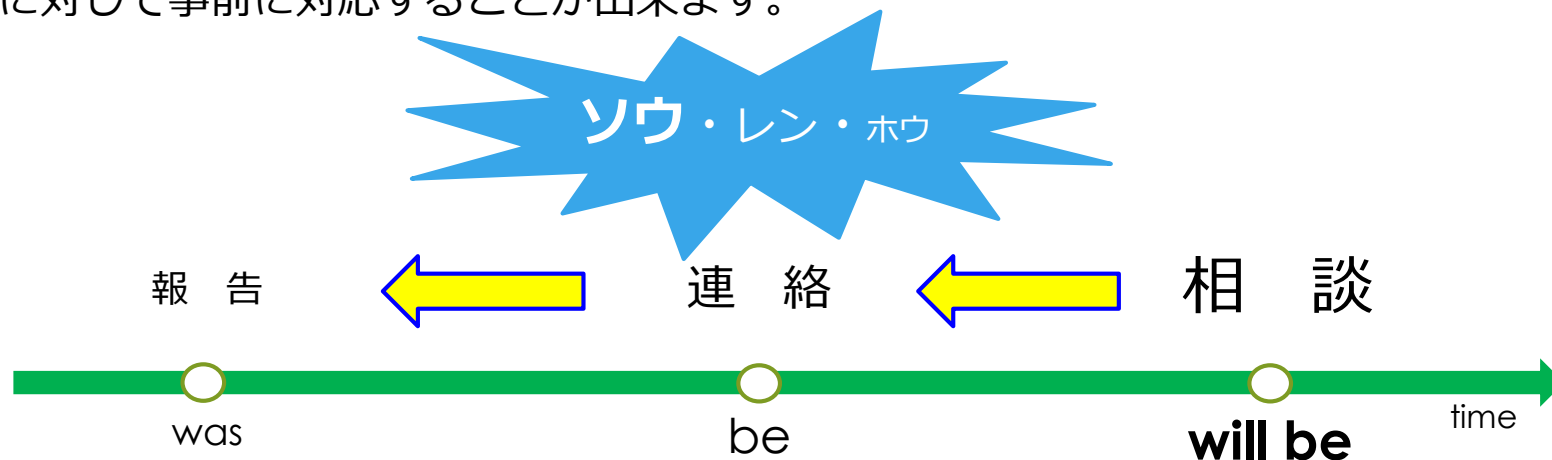


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるホウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

日本では新型コロナウイルス第3波？4波？再びリバウンド傾向にあります。そんな中、東京2020開催予が着々と迫っております。感染症への不安も高まる中、しかしながら悲願の開催でもあり、関係者は非常に難しい判断を迫られているのではないのでしょうか。どっちつかずで、ただ時間だけが過ぎ手遅れに...、仕事にも通ずるところがありそうですが、はっきりとした意思表示は非常に大事に思います。